



予選レポート

2020/12/20 Rd-7 富士スピードウェイ

天候：晴れ 気温：6℃ 出走台数：20台

COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うカレンダー変更で、およそ5カ月遅れで開幕した2020全日本スーパーフォーミュラ選手権は、コロナ禍の中6戦を終え、ついに最終戦を12月の富士スピードウェイで迎えた。

第6戦鈴鹿を終えた時点で平川選手と同点ポイントリーダーで最終戦に臨む山本選手。

ドライバータイトルを有利に進めるためにも、まずは予選ポイント獲得が重要となる。

ノックアウト第1予選A組の山本選手は、12月低温下での富士スピードウェイの路温と、前戦鈴鹿から使用可能になったタイヤウォーマー利用による温まったタイヤのコンディションを確認すべくチェックランを行った。残り6分を切ったタイミングでニュータイヤを装着してコースイン。3番手で第2予選に進む。

B組福住選手も開始と同時にチェックランを行い、残り6分でコースへ。3計測目のアタックで4番手を記録し第2予選へ進んだ。

迎えた第2予選。わずかにセットアップを修正した両ドライバーは、コースオープンと同時にコースイン。チェックランの後、福住選手が先にアタックへ。修正したセットアップが機能しなかったか、通過ギリギリの8番手タイム（1台にペナルティが課され7番手となる）。山本選手は3番手で、第3予選へ。

第3予選。第2予選の結果を踏まえ、エアロバランス等に小修正を行いアタックへ向かう。山本選手はアタック時点で首位タイムを記録するが、その後ライバルが上回り3位。貴重な1ポイントを加算した。

福住選手は、1分20秒台前半を記録するが6位で予選を終えた。

5：山本選手 予選3位（第1予選A組3位 第2予選3位 第3予選3位）HONDA 勢2位

走り始めから、感触悪くはないけどボールを取るには足りないと感じていました。

ただチームはその状態から良い組立てでリカバリーしてくれて3位でレースを迎えることが出来たのは嬉しいです。タイトル争いをしているライバルよりも前からスタートできるのは良い流れですが、ドライバータイトルを意識するというよりはレースに勝ちたいですね。とにかく、精一杯力を出し切ります。

6：福住選手 予選6位（第1予選B組4位 第2予選7位 第3予選6位）HONDA 勢5位

予選を通して、第2セクターでバランスがうまくまとまらず、セットアップもいくつかトライしましたが、1分19秒台は見えませんでした。

決勝レースでは、山本選手とのデータ共有なども行い、チームタイトル獲得に向けてチーム一丸となって臨みます。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2020/12/20 Rd-7 富士スピードウェイ

天候：晴れ 気温：7℃ 出走台数：20台

観客数：19日(土)5,300人 20日(日)9,700人 合計15,000人

2020年最終戦を快晴で迎えた富士スピードウェイは、山本選手を含む4名のドライバーにタイトル獲得の可能性がある。

予選で1ポイントを加算した山本選手は、ポイントリーダーとして決勝スタートを迎えた。

レース前の8分間のウォームアップでは、1台のマシンから出火があり赤旗中断。

レースはこの1台を除いた19台でフォーメーションラップが行われた。

そのフォーメーションラップ中にも、トラブルとスピンで2台が脱落、17台がグリッドに並んだ。

迎えたスタートでは、山本選手は抜群の蹴り出しを見せたが、位置取り悪く4番手へドロップ。

福住選手は集団の中行き場なく1コーナーでブレーキをロック、大湯選手との接触もありフロントウィングにダメージを負ってしまう。

福住選手はピットインを余儀なくされ、フロントウィングを交換。最後尾でレースへ復帰した。

山本選手は、ドライバータイトル争いをする平川選手と序盤からお互いをけん制しながらの熱いバトルが続く。

平川選手は14周目にピットイン。これを見たチームは山本選手を翌15周目にピットへ呼び、7.6秒のタイヤ交換で平川選手の前でコースへ送り出す。

お互いに先にフィニッシュしたほうがチャンピオンとなる山本選手と平川選手は、オーバーテイクシステムを使っての超接近戦を繰り返すが、山本選手は一步も引かず、ライバル平川選手との直接対決を制して5位でゴール。2020年ドライバータイトルを決めた。

福住選手は、ファステストラップを記録しながら挽回を試みるも、16位でレースを終えた。

ドライバーチャンピオンとチームチャンピオンのダブルタイトル獲得を目指した

DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、全7戦の総合ポイントでは同点首位となる84ポイントを獲得したが、今季採用の5戦有効ポイント制では72ポイントとなり、2位と同点ながら優勝回数の差でチームチャンピオンシップ3位となった。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

5：山本選手 5位 2020年ドライバーチャンピオン

コロナの影響でシーズン事態開催が危ぶまれた時期もありましたが、チーム、協賛企業様、プロモーターのJRPやサーキットの努力と、何よりファンの声援のおかげで無事全7大会を終えられたことに感謝しています。

この状況の中、シリーズ3度目、スーパーGTと合わせての2度目のダブルタイトルを獲得することができて、非常にうれしく思っています。

昨シーズンは、福住選手とチームタイトルを取ることはできましたが、ドライバータイトルは取り逃がし、チームとしてダブルタイトルを取るという意気込みと努力とサポートも痛いほど伝わっていたので、ドライバーチャンピオンを獲得することが出来て良かったです。

チームのみんなで獲れたし、チーム、協賛企業様、ファンの声援と家族の支え、みんなに獲らせてもらったチャンピオンです。

6：福住選手 16位 2020シリーズランキング8位

レース自体は、車の速さもありませんながら接触で入賞できず、チームタイトル争いに貢献できなかったことが悔やまれます。

今シーズン、随所で速さを見せる事は出来たと思いますが、流れを掴めなかったというか、自分自身の強さが足りなかったですね。

チームはいつも強力にバックアップしてくれたし、山本選手からは色々なことを学ばせてもらいました。

最高の環境を準備してくれたチーム、コロナ禍の元サポート下さったスポンサーの皆様、ファンの皆様の応援に感謝し、さらに強くなって来シーズンに臨みます。